

□東洋大学工業技術研究所および賛助会員のご案内

1961年(昭和36年)に設立された東洋大学工学部は、設立当初より「産学協同」を重要な柱としてきました。その趣旨に従い、工業技術に関する学内研究を振興しつつ、学外との交流を通じて相互の向上発展を図ることを目的として工業技術研究所が設置されました。産業界と大学との間に立って産学協同を円滑に進めることが大切な使命であるとして、産業界と大学との連携だけでなく、行政、金融機関、連携活動組織等とも連携しながら、産学官金連携を円滑に進めるための様々な事業を行っています。

2010年10月現在、理工学部、総合情報学部、生命科学部、ライフデザイン学部、法学部等の幅広い分野を専門とする160名が研究員として参加しております。

事業者は、賛助会員になることで、大学および研究所員とのさまざまな特典を得ることができます。これをご覧になった方は、ぜひ賛助会員への入会をご検討ください。詳細は工業技術研究所事務室までお問い合わせください。なお、工業技術研究所ホームページにも詳しい情報が掲載されています。

所員が2010年度に受けた表彰など (2010年11月12日現在)

福手 勤 教授	第38回 セメント協会論文賞 (主催: 社団法人セメント協会)
小瀬 博之 准教授	第19回 篠原記念賞 (主催: 社団法人空気調和・衛生工学会)
長澤 悟 教授	2010年 日本建築学会作品選奨 (主催: 社団法人日本建築学会)
松元 明弘 教授	日本機械学会教育賞 (主催: 社団法人日本機械学会)
藤村 真 教授	日本農薬学会学会賞 (主催: 日本農薬学会)
矢川 元基 教授	イアシ・ゲオルグ・アサキ工科大学(ルーマニア) 名誉博士号
望月 修 教授	Best MovieAward (The 14th International Symposium on Flow Visualization(ISFV14))
	第22期 可視化情報学会 映像賞 (主催: 社団法人可視化情報学会)

□賛助会員 (17社、順不同) 2010年11月12日現在

初雁興業株式会社	株式会社東洋クオリティワン	株式会社ソマルゴム
日油技研工業株式会社 川越工場	アキム株式会社	株式会社テイスト
株式会社松永建設	株式会社エム・テック	株式会社ハードコート
太陽インキ製造株式会社 技術開発本部	熊井技術士・労働安全コンサルタント事務所	株式会社ダイトー
旭化成建材株式会社 断熱材事業部	株式会社スタック	サンリット工営株式会社
株式会社日東	興亜産業株式会社	

工技研 Link No.11 2010年11月12日(金曜日)発行

発行: 東洋大学工業技術研究所 編集: 工業技術研究所 PR 委員会

〒350-8585 埼玉県川越市鯨井2100 TEL: 049-239-1322、FAX: 049-232-0981

E-mail: kougiken@toyonet.toyo.ac.jp ホームページ: <http://www.toyo.ac.jp/rc/riit/>

□産学官連携イベントのご案内 (各イベントの様子はホームページにも掲載されております)

工業技術研究所では、講演会等を開催するとともに、各団体が主催する産学官金連携イベントに参加・出展しています。今年度開催・参加した行事および、今後予定している行事について報告します。ぜひ御来場ください。

・○工業技術研究所講演会を開催しました。

7月29日(木)に講演会を東洋大学川越キャンパスにて開催しました。
 理工学部・堺和人准教授が「将来の世界の成長と共存をもたらす環境とエネルギー技術～世界最高性能の次世代電気自動車を実現する新モータードライブ技術～」、生命科学部・柏田祥策教授が「ナノマテリアルのための環境科学研究～ナノマテリアルを理解するために～」というタイトルの講演を行いました。



堺 和人 准教授 柏田 祥策 教授

・○埼玉縣信用金庫、コラボ産学官と共同で産学交流セミナーを開催しました。



島田 裕次先生による講演

9月21日(木)に川越キャンパスにて埼玉縣信用金庫、コラボ産学官と連携してセミナーを開催しました。総合情報学部 総合情報学科の島田裕次教授による講演「ERMによる企業力の強化～個別のリスクマネジメントから統合されたリスクマネジメントへ～」の他、学内施設の見学会などを行いました。島田教授は尖閣ビデオが流出された際にリスクマネジメントの専門家としてTBSの朝の番組に出演されました。

・○埼玉県ものづくり未来人材カレッジ研修を実施しました。

9月16日(木)、11月9日(火)に川越キャンパスにて、埼玉県ものづくり未来人材カレッジ研修(第3回、7回)を実施致しました。理工学部 応用化学科の勝亦徹教授は「単結晶の育成技術」について、理工学部 電気電子情報工学科の飯田武伸非常勤講師は「LEDの現状と課題」についてそれぞれ講義と実験を行いました。



勝亦 徹先生による実習

・○イノベーション・ジャパン 2010—大学見本市—に出展しました。

9月29日(水)～10月1日(金)に東京国際フォーラムで開催されたイノベーション・ジャパン 2010に生命科学部 食環境科学科の大熊廣一教授、理工学部 都市環境デザイン学科の福手勤教授、並びにバイオ・ナノエレクトロニクス研究センターの安喜敦士研究助手の3名が出展しました。

・○今後の予定 詳しい情報は工業技術研究所ホームページでみることができます。

2010年		2011年	
11月	12日(金)～14日(日) 「コラボさいたま2010」 (生体医工学科寺田信幸研究室が出展)	1月	26日(水)～27日(木) 「彩の国ビジネスアリーナ2011」 (生命科学部の大熊廣一研究室がポスター展示)
	25日(木)「賛助会員・卒業生との技術交流会」 初雁興業(株)の高根沢美香さんと都市環境デザイン学科の福手勤教授の講演が行われます。	2月	24日(木) 「工業技術研究所講演会」・「研究発表会」開催

賛助会員広告 (工技研 Link への広告掲載を希望される賛助会員は工技研事務室まで。掲載料は無料です。)

世界最高レベルの断熱性能、
 ずっと続くのがネオマフォーム。

断熱性能を表す熱伝導率は、世界最高レベル※1の
 $\lambda = 0020W/(m \cdot K)$ ※2を誇ります。経年劣化が極めて少なく、
 長期間、高い断熱性能を維持することができます。

※1 一般的に用いられる住宅用断熱材に関する公的規格の当社調べによる。※2 平均温度20℃による代表値

AsahiKASEI
 旭化成建材



NEOMA®